

目が高い値を示している。地域的にみると、平均において、もつとも高いのは、都市のY団地、(平均指数 32.1) について、山間僻地のK地区が(26.1)、純農村のS地区が(24.3)、他の3地区は(21.4~22.5)を示し、ひらきをみせない。Y団地は、平均的にも高いが、項目別にみると、消化器系、循環系、神経系、生殖泌尿系、疲労度疾病の頻度、種々の疾病、不適応、不安、憤怒の項目がいずれも高い値を示している。この結果が何に原因しているかは、つぎの研究にまたなければならぬ。

D—1 子女の家庭環境についての研究(第2報)

広島女子短大 鹿股寿美江

1. 親の健康状態が、子女の家庭環境に大きく影響するであろうという仮説のもとに、まず、親の健康度を、コーネル健康指数によって測定し、地域別の考察をおこなったものである。

2. 対象としては、都市団地として、M、Yの2地区、非団地として、N、Yの2地区、農村としては山間僻地のK地区、純農村としてS地区、都市近郊農村としてH地区を選定した。健康度は、195問からなるC、M、1テストを実施し、反応度によって指数の算出をおこなった。

3. コーネル健康指数の結果を総合的に考察すると、消化器系、循環系、疲労度、不適応、不安、憤怒等の項